

# 令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業名		建築管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)			
担当部署名		建築住宅課		連絡先		内線2261		
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算科目	会計	1	一般会計	
	施策	3	行財政運営		款	8	土木費	
	施策の方向	4	公共施設等の適正な管理運営		項	1	土木管理費	
					目	1	土木総務費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	設計積算						
	目的 (どうしたいか)	設計費が予算化されていない設計依頼について、設備・構造設計等の職員では対応が出来ない内容の業務を行うため						
	手段 (事業内容)	市営古市木造住宅跡地道路舗装改修工事に伴う設計委託業務、市営古市木造住宅跡地道路等整備工事(家屋調査)						

予算・決算額		(単位:千円)			«主な内訳(令和2年度決算)»	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】市営古市木造住宅跡地道路舗装改修工事に伴う設計委託業務【341千円】 市営古市木造住宅跡地道路等整備工事(家屋調査)【263千円】	
当初予算額	事業費	1,500	1,500	1,500		
決算額	事業費	484	604	—		
	特定財源等	0	896	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			【特定財源】	
指標名		設計委託件数	単位	件		
指標の説明		1年間で設計委託した件数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
目標(見込)	3	3	3			
実績	1	2	—			

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			«事業の参考数値等»	
指標名		依頼案件処理率	単位	%		
指標の説明		設計費が予算化されていない設計依頼のうち設計委託を行った割合				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
目標(見込)	100	100	100			
実績	100	100	—			

個別評価							
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A			
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。					
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。					
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A			
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。					
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。					
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A			
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。					
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。					

総合評価		現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題)		(令和3年度以後の事業実施への改善内容)	
設計費の予算が無く設備・構造設計・緊急対応等、職員での対応が難しい 設計依頼については設計委託することで対応している。			各課で出来る限り、当初予算での対応をお願いしたい。